

令和元年度第2回大阪府立近つ飛鳥博物館指定管理者評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和2年2月14日(金)14時～16時
- 2 場 所 近つ飛鳥博物館 2階会議室
- 3 出席委員 織田委員、高橋委員、和田委員
- 4 議事内容 令和元年度指定管理運営業務の評価について

【主な意見】

- I-(4)「サービスの向上を図るための具体的手法・効果」について、ホームページの更新回数のみでは目標値に達していないが、Facebookでの情報発信も加味し、目標を達成できているとみてよい。また、ショッピングモールでの事業も裾野を広げるという方向で良い取組である。施設所管課評価はA評価となっているが、S評価とすべきである。
⇒事務局：指摘・提言として記載のうえ修正する。
- I-(7)「施設及び資料の維持管理の内容、的確性」について、施設所管課がS評価とした理由が読み取りにくい。より踏み込んだ内容を書くべき。
⇒事務局：指摘・提言として記載のうえ修正する。
- I-(7)「施設及び資料の維持管理の内容、的確性」に関連することとして、博物館建設から25年が経ち、展示、設備とも老朽化している。修繕していく必要がある。
⇒事務局：令和2年度には百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を受けての緊急的なりリニューアルを予定している。設備面についても適宜必要な箇所から修繕していきたい。
- III-(2)「安定的な運営が可能となる人的能力」について、評価はこれでよいが、少人数で非常に多くの事業を実施している状況にある。余裕のある体制を組めるよう、府の方で考えてほしい。予算を増やすには所管課に頑張ってもらわなければならない。

【今後の進め方】

「評価票」及び「改善のための対応方針」について、意見を踏まえて事務局で追記修正を行い、委員長の確認を得たうえで各委員に報告する。